



↑「ど〜お、様になってるでしょ」と言わんばかりの手さばき

★ 鮮 平尾小「魚のさばき方教室」 な手さばきで調理

平尾小学校（川畑和徳校長・82人）は2月21日、6年生18人を対象に「魚のさばき方教室」を開きました。

はじめに出水農林水産事務所の職員から、1次産業としての漁業の役割や全国における鹿児島県と長島町の漁業の位置づけなどの講話を聞いた後、アジの3枚おろしやキビナゴの手開きの方法の説明を受けました。続いて4つのグループに分かれて、長島町お魚育成グループの手ほどきを受けながら、実際に魚さばきに挑戦しました。

最初はおっかなびっくり魚をさわっていた児童たちも、2匹目には鮮やかな手さばきで魚を調理していました。

児童たちの実習後の感想では「家でもやってみたい」「漁業の後継者になりたい」などの声があがっていました。

↓一鉢の花で児童たちとお年寄りの心は結ばれた



★ 給 堀野さんに感謝状 食の充実発展に貢献

学校給食の運搬業務を長年務めてこられた伊唐の堀野貢さん（52）が財団法人鹿児島県学校給食会（本田弘信理事長）から表彰され、2月14日、町長室で表彰状の伝達式がありました。

堀野さんは、昭和45年から親子2代にわたって獅子島と伊唐の学校に給食を海上輸送し、平成8年の伊唐大橋開通後からは、伊唐小学校へ陸上での配送業務に従事されました。

同日は、給食の充実発展に大きく貢献された堀野さんに、川添健町長から感謝状が伝達されました。



↑川添町長から堀野さんへ感謝状を伝達

★ 心 お年寄り宅に花の宅配 のふれあいの場をつくる

2月19日、蔵之元小学校（徳留光郎校長・74人）は「花の宅配」活動を実施しました。この活動は、学校で栽培した花を一人暮らしのお年寄りへ贈ろうというもので、児童たちは下校途中に24人のお年寄り宅をグループに分かれて訪問しました。

蔵之元の金子ミドリさん（83）宅では、清水航征君（6年）と関裕也君（同）、増田百香さん（1年）がメッセージを読み上げた後、「お元気で長生きしてください」と声をかけながらデージーを手渡しました。

花を受け取った金子さんは「子どもたちとふれあえてうれしい」と笑顔で話していました。